

# 輝なんせ鳥取

2014.12  
第22号

## ひとひと 女と男とのハーモニーフェスタ

10月4日(土)鳥取市民会館において

「第22回ひとひと女と男とのハーモニーフェスタ」が開催されました。



オープニング：鳥取しゃんしゃんチーム生粋 kisui

### 目次

- 第22回  
ひとひと女と男とのハーモニーフェスタ …… 2・3
- 男女共同参画絵手紙コンテスト  
入賞作品 …… 4・5
- 輝なんせ鳥取講座「男女共同参画基礎講座」  
江戸女に温故知新！  
～江戸時代の女性の生き方を知る～  
いりえ よしあき  
入江 宜明さん …… 6

ひと ひと

第22回

# 女と男とのハーモニーフェスタ

## 誰もがすてきな人生を ～お互い自然でいいじゃない～

平成 26 年 10 月 4 日土曜日、鳥取市民会館にて、第 22 回女と男とのハーモニーフェスタが開催されました。鳥取しゃんしゃんチーム生粋 kisui さんによる元気いっばいの傘踊りで会場客を魅了したあと、市場恵子さん、尚文さんの夫婦ならではのトーク&ライブ、そして、深澤市長、市場さんご夫妻とのてい談で和やかにフェスタを締めくくりました。

講演

## 「すてきにパートナーシップ ～友だちのように横並びで歩きたい～」

講師：市場 恵子さん  
(社会心理学講師)

市場 尚文さん  
(医師・メンズリブフォーラム岡山世話人)



レポート 1

女と男が横並びの社会。それをつくるために、一人ひとりが意識を持つことが大切だと感じた時間でした。私たち一人ひとりが力（エンパワメント＝抑圧や差別を押し返していく内面の力）を持っているのに、その力を小さくさせるもののひとつに「ジェンダー」があるということがすんなり理解できました。

男女平等を日々の生活の中で実行されているお二人のお話は説得力がありました。夫婦別姓の話で、どちらも改姓を経験されていること、料理教室に通われ、今では当たり前家事をこなすこと、娘さんが大工さんということ、それらを「すごいなー、なかなかでき

ることじゃないでなー」と感じた私の中にまだまだジェンダーがどっぴりあるということにも気づかされました。

「切手のない贈り物」の歌から始まった講演会。息の合ったお二人から、横並びで歩くということが、自分らしくいられる社会の姿だということが伝わってきました。最後に、「切手のない贈り物」の歌詞を変えて「広い世界にたった一人のわたしの好きなわたしへ」と歌われ、自分を大切にできるから人を大切にできるということが胸にすんと落ちました。

(記：Y編集委員)

レポート 2

当日レジュメにあった「ジェンダーチェック」。  
★女の子はしとやかに、男の子はたくましく育ててもらいたい ★子どもの参観日に出席するのは母親の方がいい ★保護者名の欄には、ふつう父親（男性）の名前を書く ★女性（妻・母）が外出するときは家族の食事を準備してからいくものだ ★男の子は家事を手伝わなくてもいい ★子どもが小さいうちは母親が育児に専念する方がいい ★女の子の進学や就職は

地元がいい ★「女だから」「男だから」という言葉が何気なく出てしまう・・・今までの生活の中で刷り込まれてきた感覚が実は自分の可能性を狭める要因にもなりうること、女らしさ男らしさということではなく、みんなちがってみんないい、自分らしく生きられるには、ともに横並びで歩くということなんだと気づかせられた。

(記：センター職員)



# てい談

深澤 義彦 市長  
 市場 恵子 さん  
 市場 尚文 さん  
 コーディネーター  
 尾崎かおる 実行委員長



## レポート 3

コーディネーター尾崎実行委員長のリードにより、てい談が始まりました。初顔合わせということもあって、最初はみなさん硬い表情でしたが、話が進むにつれ緊張感がほぐれたのか、いい表情を見せてくれるように。深澤市長のプライベートな部分も聞くことができ、親近感が湧いてきた！と感じられた人も多かったのでは。

(記:センター職員)



# 会場風景





# ♪男女共同参画 絵手紙コンテスト 入賞作品♪

男女共同参画について考え、より身近なものとして感じていただくように、今年度も「絵手紙」(テーマ：応援し合い 支え合おう)を募集したところ、一般の部6点4人、小中学生の部89点87人の応募がありました。応募作品の中から、「最優秀賞」「優秀賞」「入選」に選ばれた方を表彰しました。表彰式は、平成26年10月4日(土)第22回女と男とのハーモニーフェスタにおいて、行われました。



## 一般の部



濱 幸子さん

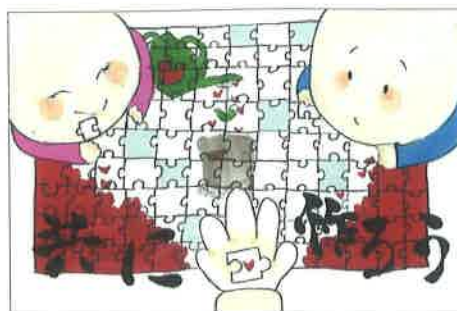


山本 栄美子さん

優秀賞

最優秀賞

入選



坂本 麻菜さん



八木 武子さん



小中学生の部



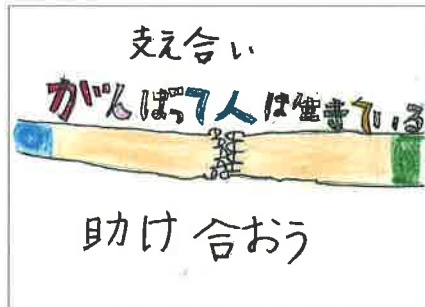
西垣 詠梨さん  
(気高中学校3年)



梅林 大聖さん  
(久松小学校4年)



林 亜美さん  
(南中学校3年)



山下 果穂さん  
(久松小学校4年)



中原 ひなみさん  
(気高中学校3年)



花木 野々花さん  
(気高中学校3年)



田中 士羽さん  
(久松小学校4年)



井口 結仁さん  
(久松小学校4年)



亀本 尚子さん  
(醇風小学校3年)



縄田 美香さん  
(青翔開智中学校1年)



編集委員の

# 「輝なんせ鳥取」 つれづれき 講座徒然記

「輝なんせ鳥取」は学習、交流、情報交換など男女共同参画社会の実現を目指したあらゆる活動の拠点施設です。講座も随時開催しています。今回は、8月30日に開催された男女共同参画基礎講座の様相を紹介します。

男女共同参画基礎講座（8月30日 鳥取市福祉文化会館3階 第2会議室）

『江戸女に温故知新！』

江戸時代の女性の生き方を知る —古文書から見た女性の動き—

講師：入江 宜明さん（歴史研究家）



レポート 4

江戸時代、女性は果たして不自由な生活を余儀なくされていたのか・・・入江先生の豊富な資料から実像を想像してみる。

離婚の際、夫から妻へ書かれる離縁状いわゆる三行半がある。理由は書かず、離婚を決めた宣言と妻の再婚許可が3行半にまとめられているものである。一方、妻からの離婚の申し出に夫がどうしても応じない時には、お寺や庄屋（有力者）などが相談に乗っていたとのことである。

また、多くの町人や百姓の子どもたちが、寺子屋で文字を習っていて、識字率は思いのほか高かった。四国遍路や温泉などの旅に関しては、往來手形が必要であり、女性一人旅であっても、願い出れば許されていた。

万が一、旅の途中で死亡した場合の対処方法も記されていて、その中には家族に知らせなくてもよいという文章もあった。当時の旅はまさに命がけだったが、女性もいろいろな所へ行き来していたことがわかる。他にも、何人もの女性が出稼ぎに行っていることがわかる手形もあった。

資料に出てくる様々な女性の動きをみると、江戸時代の女性は私たちが思うよりずっと選択肢が広く、自由にいきいきと生活していたのではないだろうか。

（記：K編集委員）



（当日資料より）

## 【輝なんせ鳥取】

鳥取市男女共同参画センター

〒680-0022 鳥取県鳥取市西町2丁目311番地（鳥取市福祉文化会館内）

TEL(0857) 24-2704 FAX(0857) 20-3052

E-mail danjyo@city.tottori.lg.jp

URL <http://www.city.tottori.lg.jp/>